

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	早稲田文理専門学校
設置者名	学校法人 中央情報学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	ビジネス起業経営学科 (2年制)	夜・通信	1, 152時間	80×2=160時間	
	ビジネス起業経営学科 (4年制)	夜・通信	2, 448時間	80×4=320時間	
	営業マネジメント学科	夜・通信	936時間	80×2=160時間	
工業 専門課程	電子機器組込みソフトウェア学科 (2年制)	夜・通信	1, 224時間	80×2=160時間	
	電子機器組込みソフトウェア学科 (3年制)	夜・通信	2, 088時間	80×3=240時間	
	アプリ・Web制作学科	夜・通信	1, 116時間	80×2=160時間	
	AIデザイン学科	夜・通信	1, 440時間	80×2=160時間	
	ゲームクリエイター学科	夜・通信	1, 440時間	80×2=160時間	
文化・教養 専門課程	日中越英通訳・ガイド 学科	夜・通信	1, 152時間	80×2=160時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験と授業との関連を記載している。 https://wbc.ac.jp/school/information/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	早稲田文理専門学校
設置者名	学校法人 中央情報学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している
ホームページ <https://wbc.ac.jp/school/information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2021.6.1～ 2023.5.31	組織運営体制への チェック機能、財務
非常勤	会社員	2021.6.1～ 2023.5.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	早稲田文理専門学校
設置者名	学校法人 中央情報学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>例年開催される第1回教育課程編成委員会(通常8月)での教育課程の検討を受けて、教務部会を中心に、各授業担当の教員の意見等を取り纏め、翌年度の教育課程の編成を行う。第2回教育課程編成委員会(通常3月)における、翌年度教育課程の検討を経て、授業科目とその目的の設定、授業内容、時間割、担当教員等を教務会議にて決定する。</p> <p>各授業担当教員は、「シラバス作成ガイドライン」に従って、学則に従った授業科目、授業時間で、授業の目的、到達目標、成績評価方法、テキスト、授業計画といった決められた事項について、各学科とも統一した書式で作成し、教務会議に提出する。教務会議は、すべての授業科目についてシラバスの内容を検討した後、公開する。</p> <p>【作成・公表時期】</p> <p>新年度の授業開始前(通常4月10日ごろ)</p>	
授業計画書の公表方法	<p>HPに掲載</p> <p>https://wbc.ac.jp/school/information/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の学修成果は、各授業担当教員が、シラバスで公開した評価方法で、出席・学習態度・意欲(30%)、試験、成果発表、課題提出物、総合力(70%)により100点満点で採点し、A(90点以上)、B(75点以上)、C(60点以上)、D(50点以上)、F(50点未満)の5段階で評価する。総合力では、知識・理解力、思考・推論、応用力、創造力、コミュニケーション力、学習に取り組む姿勢により、評価する。</p> <p>学則第25条により、A、B、C、Dは合格とし、Fは不合格とする。</p> <p>毎年度末に行われる進級判定会議、卒業判定会議において、全学生について、出席率が80%以上で、成績が取得すべき単位の80%以上合格している学生に対し、学則第27条により、校長が課程修了の認定を行う。</p> <p>学則、シラバスは学校HPにて公開している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本校では、学生の自主的な学習の促進および学生指導、就職指導等に活用することを目的として、2019年度からGPA (Grade Point Average) 制度を導入している。 (「GPA (Grade Point Average) による成績評価」をHPにて公開) 各科目の成績は、シラバスで公開した評価方法で、出席・学習態度・意欲 (40%)、課題 (20%)、試験・総合力 (40%) により100点満点で採点し、A (90点以上)、B (75点以上)、C (60点以上)、D (50点以上)、F (50点未満) の5段階で評価する。総合力では、知識・理解力、思考・推論、応用力、創造力、コミュニケーション力、学習に取り組む姿勢により、評価している。 各学生の履修科目の成績を、A (4)、B (3)、C (2)、D (1)、F (0) のグレード・ポイント (GP) に変換し、GPに当該科目の授業時間数を乗じて、その総和を履修総授業時間数で除した値をGPAとする。 GPAによる成績評価によって、学生の成績分布が分かるとともに、学習意欲の向上に役立てるように、HPで公開し、オリエンテーション、説明会等で周知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>HPに掲載 https://wbc.ac.jp/school/information/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 当校は、「未来をデザインし、社会のイノベーションに寄与する」ために、21世紀の日本と世界で、新しいビジネスに挑む、クリエイティブで社会に役立つ人材を育成することを教育理念としている。 所定の課程を修了したものは、教育目標である <1> 産業界が求める専門知識、専門スキル <2> デザインを形にできる能力 <3> コミュニケーション能力 を身につけた者として、学則29条により、卒業の認定をしている。 当校ではディプロマ・ポリシー (卒業認定の方針) を策定し、HPに公開している。 この教育理念、教育目標は、学生の学びの指針として、入学時・進級時オリエンテーション、説明会等で周知している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>HPに掲載 https://wbc.ac.jp/school/information/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	早稲田文理専門学校
設置者名	学校法人 中央情報学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報をHPに公開している https://wbc.ac.jp/school/information/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ビジネス起業経営学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,728 単位時間/単位	1,152 単位時間/単位	単位時間/単位	576 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70人	64人	64人	3人	4人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			

(就職指導内容)
(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ビジネス起業経営学科		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3, 4 5 6 単位時間	2,376 単位時間		1,080 単位時間		
		単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140人	64人	64人	3人	4人	7人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0.0%)	11人 (61.1%)	7人 (38.9%)
(主な就職、業界等) (株)フジランド、清水物産(株)、ベネリックコミュニケーションズ(株)、(株)アズール 他			
(就職指導内容) 毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇 期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設 置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談			

のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。

(主な学修成果 (資格・検定等))
 全経簿記検定 3 級 9 名合格, 他に日本ビジネス能力認定試験、日検 PC 表計算・文書デザイン・プレゼンテーション作成、ホテルビジネス実務検定試験、日本語能力試験

(備考) (任意記載事項)
 担任教員による定期的な個別面談と各学期ごとの補講により、学修を支援するとともに、長期休暇中も含めた生活指導と卒業に向けた進路指導を徹底している。
 また、課外活動でボランティア活動を行っている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75人	15人	20.0%
(中途退学の主な理由) 就職、帰国 (留学生)、結婚、経済的理由のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	営業マネジメント学科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,728 単位時間	1,152 単位時間		576 単位時間	
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
76人		81人	81人	2人	1人	3人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
47人 (100%)	3人 (6.4%)	39人 (83.0%)	5人 (10.6%)
(主な就職、業界等) 清水物産株式会社、株式会社エムアンドアール、株式会社喜久多、ベネリックコミュニ ケーションズ株式会社など			
(就職指導内容) 毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇 期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設			

置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。

(主な学修成果(資格・検定等))

全経基礎簿記会計 27 名合格、全経簿記検定 3 級 26 名合格、同 2 級 3 名合格、同 1 級(商業) 1 名合格、情報処理検定(表計算) 15 名合格、日本語能力試験 N2 25 名合格

(備考)(任意記載事項)

担任教員による定期的な個別面談と各学期ごとの補講により、学修を支援するとともに、長期休暇中も含めた生活指導と卒業に向けた進路指導を徹底している。

また、課外活動でボランティア活動を行っている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89人	14人	15.7%
(中途退学の主な理由) 就職、帰国(留学生)、経済的理由のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	電気機器組込みソフトウエア学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	864 単位時間 /単位	単位時間 /単位	936 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	18人	18人	2人	4人	6人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇 期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設			

置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。

(主な学修成果(資格・検定等))

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	電子機器組み込みソフトウェア学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	2, 592 単位時間	1,152 単位時間		1,440 単位時間	
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90人		12人	12人	2人	4人	6人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (%)	4人 (36.3%)	7人 (63.6%)
(主な就職、業界等)			
サンワシステム株式会社、株式会社3G、株式会社フルハートジャパンなどのIT業界			
(就職指導内容)			
毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談			

のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。

(主な学修成果(資格・検定等))

(備考) (任意記載事項)

担任教員による定期的な個別面談と各学期ごとの補講により、学修を支援するとともに、長期休暇中も含めた生活指導と卒業に向けた進路指導を徹底している。
また、課外活動でボランティア活動を行っている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	7人	22.6%
(中途退学の主な理由) 就職、帰国(留学生)、経済的理由のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	アプリ・Web制作 学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1, 728 単位時間	972 単位時間		756 単位時間	
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人		110人	110人	2人	3人	5人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	4人 (10.8%)	19人 (51.4%)	14人 (37.8%)
(主な就職、業界等)			
株式会社 J. J. S、株式会社ジャロック、株式会社プライセンなどのシステム開発企業、 Web 開発企業、IT 業界等			
(就職指導内容)			
毎週 2, 3 回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇 期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設			

置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。

(主な学修成果(資格・検定等))

ITパスポート1名合格、情報活用検定(J検)3級28名合格の他、日本ビジネス能力認定試験、日本語能力試験など

(備考)(任意記載事項)

担任教員による定期的な個別面談と各学期ごとの補講により、学修を支援するとともに、長期休暇中も含めた生活指導と卒業に向けた進路指導を徹底している。
また、課外活動でボランティア活動を行っている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	11人	13.1%
(中途退学の主な理由) 就職、帰国(留学生)、経済的理由のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	AI デザイン学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1, 728 単位時間	864 単位時間		864 単位時間	
			単位時間			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
76人	43人	43人	3人	3人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
新設学科のため、卒業生は出ていない。			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇 期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設 置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談 のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力			

に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。
(主な学修成果(資格・検定等)) Python 3 エンジニア認定基礎試験、日本語能力試験など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	1人	6.3%
(中途退学の主な理由) 帰国(留学生)、経済的理由のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	ゲームクリエイター 学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1, 728 単位時間	792 単位時間		936 単位時間	
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
132人		53人	0人	3人	3人	6人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	0人 (%)	7人 (30.4%)	16人 (69.6%)
(主な就職、業界等)			
株式会社アピリッツ・株式会社マイティークラフト等のゲーム系企業 株式会社ジェイテック・株式会社キュービックソリューション等のIT系企業			
(就職指導内容)			
毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇 期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設			

置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。

(主な学修成果 (資格・検定等))

●産学連携イベント(合同作品制作会)

合同作品制作会への参加により作品、制作過程の企業評価を実施して頂いた。
合同作品発表会への参加により作品の企業評価を実施して頂いた。

●各種コンテストへの応募・結果

日本ゲーム大賞 2020 アマチュア部門 参加

IIT アプリアワード 2020 アイデア部門 最優秀賞、優秀賞 受賞
(主催 一般社団法人東京都産業情報協会)

(備考) (任意記載事項)

実際にゲームを制作しながら技術を学ぶことで、実践的な技術を習得すると共に、コンテスト等に積極的に取り組み、作品を業界企業より評価して頂くことで、エンターテインメントのセンスや、技術向上を図っている。

担任教員による定期的な個別面談と各学期ごとの補講により、学修を支援するとともに、長期休暇中も含めた生活指導と卒業に向けた進路指導を徹底している。

また、課外活動でボランティア活動を行っている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	2人	3.8%
(中途退学の主な理由) 就職、経済的理由のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門課程	日中越英通訳・ガイド学科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,728 単位時間	1,152 単位時間		576 単位時間	
			単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人		136人	136人	4人	4人	8人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 産学連携を重視し、企業からの講師による業界や企業が求める人材ニーズとそのため に必要な知識・スキルを、学生が目的を持って学べるように設定している。授業は、 理解度を測定しながら、学生の進度にあった内容で行っている。授業時間外で、学生 が自主的に学べるように、eラーニング等を活用するとともに、コンテスト等に参加 して、スキル向上のための取組みを行っている。学業成績優秀者には、表彰、学校奨 学金、資格取得奨励金などにより支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
67人 (100%)	1人 (1.5%)	39人 (58.2%)	27人 (40.3%)
(主な就職、業界等) 株式会社富士ランド、株式会社東海ホテルメンテナンス、清水物産株式会社、CHROME HEARTS JP 合同会社など貿易や観光・ホテル業界			
(就職指導内容) 毎週2,3回のペースで学内企業説明会・面接会を実施し、学外企業説明会や、長期休暇 期間のインターンシップへの参加も積極的に促している。また、校内に就職支援室を設			

置、就職希望者対象のメーリングリストを活用し、いつでも最新の情報が得られ、相談のできる環境を整えている。学生一人ひとりの就職に対して、本人の希望や適性、能力に合わせた紹介を行い、求人企業とのマッチングを行っている。

(主な学修成果(資格・検定等))

日本語能力試験 N1・4名合格、日本語能力試験 N2・26名合格、
日本ビジネス能力認定試験 3級 19名合格、日本の宿おもてなし検定初級 11名合格

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
170人	32人	18.8%
(中途退学の主な理由) 就職、帰国(留学生)、経済的理由のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および生活指導担当者が面談し、教職員全体で親身になって生活相談にのる。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ビジネス起業経営学科	100,000 円	600,000 円	250,000 円	実習費、施設設備費、教科書・教材費等
営業マネジメント学科				
電子機器組込みソフトウェア学科				
アプリ・Web制作学科				
ゲームクリエイター学科				
AIデザイン学科				
日中越英通訳・ガイド学科				
修学支援（任意記載事項）				
学校独自の学費減免制度、奨学金制度あり。 学業成績優秀者への表彰、資格取得奨励金制度等の学修支援制度あり。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、HPに公開している https://wbc.ac.jp/school/information/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 業界団体・企業、高等学校等の役職員及び当学園関係者から構成される学校関係者評価委員会を設置し、委員会において、当学園の自己点検・自己評価委員会が、「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省：平成25年3月）及び「学校法人中央情報学園における学校評価に関する要綱」（学校法人中央情報学園：平成24年6月1日）に基づいて取りまとめた中央情報専門学校学園自己点検・自己評価報告書の評価し、学校運営に関する改善のための助言及び支援を行うことを基本とする。委員会では、各年度において、前年度自己点検・自己評価報告書の説明、評価、検討を行う。その後、学校関係者評価報告書をホームページにてその内容を公開するとともに、改善提案を自己評価改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
監査法人ナカチ・公認会計士	2021年4月1日～ 2022年3月31日	企業等委員
東京商工会議所 人材・能力開発部人材支援センター 所長	2021年4月1日～ 2022年3月31日	企業等委員
公益財団法人 日本教育公務員弘済会 顧問 元埼玉県立浦和高等学校長	2021年4月1日～ 2022年3月31日	高校
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、HPに公開している https://wbc.ac.jp/school/information/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://wbc.ac.jp/school/information/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	早稲田文理専門学校
設置者名	学校法人 中央情報学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		一人	一人	一人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				一人
合計（年間）				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。